

手順：
Fiery JobExpert を使用し
て、ジョブを正しく 1 回
印刷する



手順：Fiery JobExpert を使用して、ジョブを正しく 1 回印刷する

機能概要

Fiery JobExpert は、プロダクション時間を最適化しつつ最高品質を実現するために、受け取った PDF ファイルを分析し、最適な印刷設定を動的に選択する画期的な新しいテクノロジーです。

これを実現するため、Fiery JobExpert には次の機能が搭載されています。

- PDF の各印刷ジョブを詳細に分析
- 最適な Fiery ジョブ設定を自動設定
- 印刷品質を効率的に最大化できるように各ジョブを処理

JobExpert は、組み込みのエキスパートとして次のことを提供します。

- 最高品質の印刷
- 処理の高速化
- 経験を問わないジョブの正確な実行
- セットアップ時間の短縮
- 無駄の削減
- 必要に応じて行える操作の取り消し

ゴール

- Fiery Command WorkStation® で Fiery JobExpert を使用して書類をインポート
- JobExpert による自動修正機能を確認
- すでに待機キューにインポート済みのジョブに Fiery JobExpert を適用
- ジョブに適用された Fiery JobExpert 設定をクリア
- ジョブに適用された Fiery JobExpert レポートをプレビュー

その他のリソース

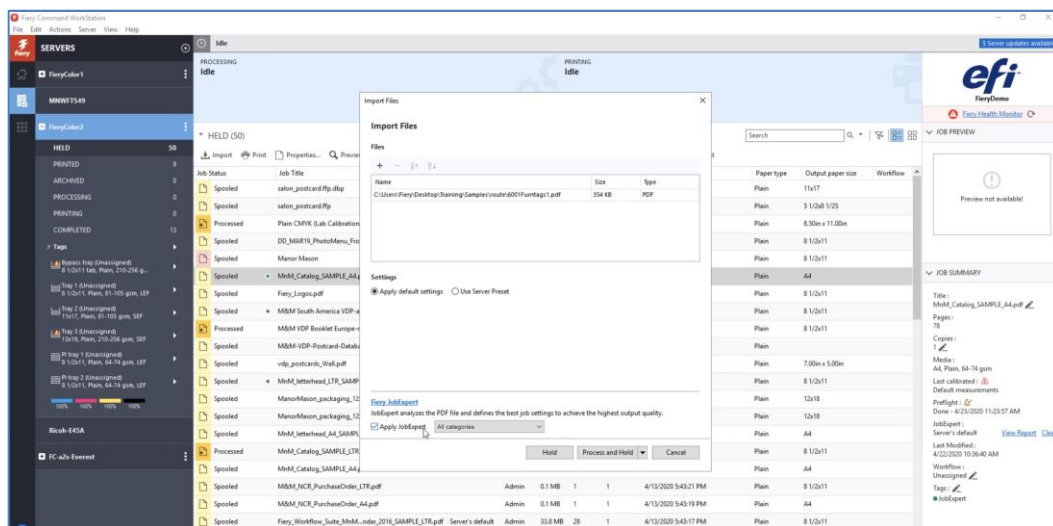
その他のソフトウェアダウンロードやトレーニングリソースなどについては、[Fiery オンラインリソース](#)を参照してください。

はじめに

- Fiery Command WorkStation 6.4 以降を起動し、Fiery FS400 Pro* を起動している Fiery 外付型サーバーに接続してください。
- デスクトップ上のファイル「**efi_fiery_MnM_booklet_jobexpert_A4.pdf**」または「**efi_fiery_MnM_booklet_jobexpert_LTR.pdf**」のコピーを保存しておいてください。
- 印刷を開始する前にプリンターと Fiery サーバーのキャリブレーションを行ってください。

* 一部例外があります。将来的な対応状況については、Fiery 販売店にお問い合わせください。

手順 : Fiery JobExpert を使用して、ジョブを正しく 1 回印刷する

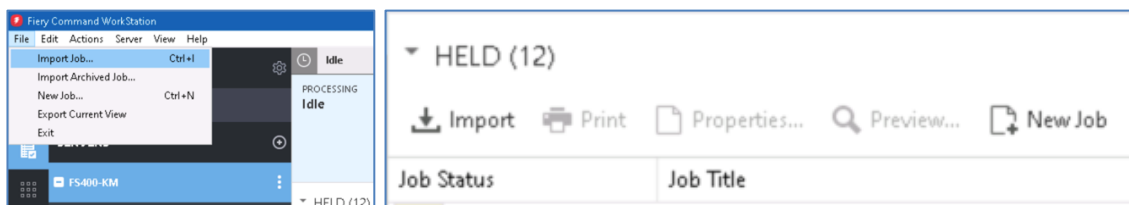


Fiery Command WorkStation で Fiery JobExpert を使用して書類をインポート

このセクションでは、PDF ファイルを Fiery Command WorkStation にインポートして、それに JobExpert を適用した後、同じファイルを JobExpert なしでインポートして比較します。

最初の PDF ファイルについては、JobExpert がジョブの内容に応じて最適なジョブのプロパティ設定を選択します。

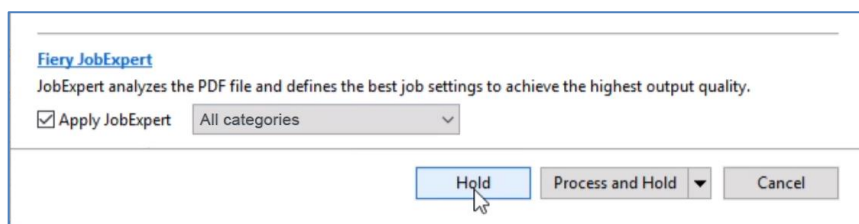
1. 開始するには、Command WorkStation を使用して、**efi_fiery_MnM_booklet_jobexpert_LTR.pdf** または **efi_fiery_MnM_booklet_jobexpert_A4.pdf** ファイルを Fiery サーバーにインポートします。ファイルメニューを選択してから、ジョブのインポート... オプションを選択します。または、ジョブセンターにあるインポートツールバーアイコンを使用することもできます。



注意 : お使いの Fiery サーバートレイで使用可能なメディアストックのサイズによっては、このファイルの A4 版を選択できます。その際、JobExpert の使用結果は同じになります。

手順 : **Fiery JobExpert** を使用して、ジョブを正しく **1** 回印刷する

2. 新しいインポートするファイルの選択ウィンドウで、デスクトップ上にある PDF ファイルを選択し、**開く**をクリックすることで追加します。
3. ファイルのインポートという新しいウィンドウが開き、PDF ファイルの名前、サイズ、種類が表示されます。
4. このウィンドウの左下角にある **JobExpert を適用** チェックボックスをクリックします。



5. チェックボックスをクリックすると、ドロップダウンリストによる選択が可能になります。この例では、**全カテゴリー** オプションが選択されたままにします。**JobExpert** がジョブの内容に応じて最適なジョブのプロパティ設定を選択します。

注意 : 全カテゴリーオプションが選択されていると、**Fiery JobExpert** は、カラー管理、画像品質、バリエابلデータ、一部のエンジン固有のプロパティなどの印刷設定を自動的に正しく設定します。

カラー管理 が選択されていると、**JobExpert** はジョブの内容に応じて最適なカラー設定を選択します。

JobExpert によるジョブの分析が完了したら、ジョブのプロパティの「カラー」タブを開くことで、適用された設定を確認できます。**JobExpert** では、必要に応じて、ジョブで **Adobe PDF Print Engine (APPE)** を有効化することもできます。

画像品質 オプションを使用すると、**JobExpert** はジョブの内容に応じて最適な画像品質設定を選択します。

JobExpert によるジョブの分析が完了したら、ジョブのプロパティの「画像」タブを開くことで、適用された設定を確認できます。

VDP オプションが選択されると、**JobExpert** は、バリエابلデータを含む PDF ジョブに最適な設定をジョブのプロパティから選択します。ジョブ内で **PDF/X** オブジェクトが検出された場合も、**JobExpert** によって **APPE** が有効化されます。

6. 次に、**処理後待機** ジョブアクションを選択すると、そのジョブに推奨される設定が自動的に適用されます。

ここからは、**Fiery JobExpert** を使用せずに、同じファイルをもう一度インポートします。

1. **ファイルメニュー**を選択してから、**ジョブのインポート...** オプションを選択します。デスクトップに PDF ファイル「**efi_fiery_MnM_booklet_jobexpert.pdf**」を配置して、それを選択します。
2. 新しいインポートするファイルの選択ウィンドウで、**開く**をクリックすることで追加します。

手順 : Fiery JobExpert を使用して、ジョブを正しく 1 回印刷する

3. ファイルのインポートという新しいウィンドウが開きます。設定は何も変えないまま、**処理後待機**ボタンをクリックします。

待機キューに PDF ファイル **efi_fiery_MnM_booklet_jobexpert.pdf** が 2 回表示されます。

Import Print Properties... Preview... New Job Delete Calibrate... Spot Pro Logs						
Job Status	Job Title	User	Size	Pages	Copies	Date/Time
Processed	efi_fiery_MnM_booklet_jobexpert_LTR_hg.pdf	Admin	67.0 MB	4	1	Today 5:15:42 PM
Processed	efi_fiery_MnM_booklet_jobexpert_LTR_hg.pdf	Admin	219.3 MB	4	1	Today 5:13:27 PM

JobExpert による自動修正機能を確認

このセクションでは、Fiery Command WorkStation にインポートされた PDF ファイルにどのように JobExpert の設定が適用されるかを確認します。

EFI では、埋め込み ICC プロファイル、透明度の問題、小さいテキスト、極細の線についての広範なチェックを開発しました。

これらの設定とその修正を確認するためには、Fiery Command WorkStation のプレビューを使用することもできますが、一部の修正は印刷済みの書類でないと確認できない場合があります。

「プレビュー」オプションを使えば、Fiery サーバー上で JobExpert を使用して埋め込み ICC プロファイルを正しく反映できているか、視覚的に確認できます。

JobExpert は受信 PDF ファイルのプロファイルを検出し、それが RGB、CMYK、グレーのどれなのかを判断します。また、埋め込み出力インテントプロファイルがあるかどうかを検出します。確認方法は次のとおりです。

1. Fiery JobExpert を使用せずに処理された最新のインポート済み PDF ファイル「efi_fiery_MnM_booklet_jobexpert.pdf」を待機キューから見つけます。
2. 右クリックします。
3. コンテキストメニューで、**プレビュー...**オプションを選択します。
4. ページの最下部に 2 つの画像が表示されます。ページの右側の画像にはカスタム CMYK ICC 埋め込みプロファイルが使用されていますが、正常に処理されていません。画像がマゼンタがかった色になっていることがわかります。

手順 : Fiery JobExpert を使用して、ジョブを正しく 1 回印刷する



JobExpert を使用せずに処理された画像。

次に、Fiery JobExpert を使用して処理された、同じ PDF と比較します。

1. Fiery JobExpert を使用して準備した、最初のインポート済み PDF ファイル「efi_fiery_MnM_booklet_jobexpert.pdf」を待機キューから見つけます。
2. PDF を右クリックします。
3. コンテキストメニューで、**プレビュー...**オプションを選択します。
4. 最初のページの最下部にある 2 つの画像を再度見てみましょう。右側の画像には、カスタム CMYK ICC 埋め込みプロファイルが使用されています。JobExpert が適用されると、画像の埋め込み ICC プロファイルが正しく処理されて、マゼンタがかかった色にならなくなります。



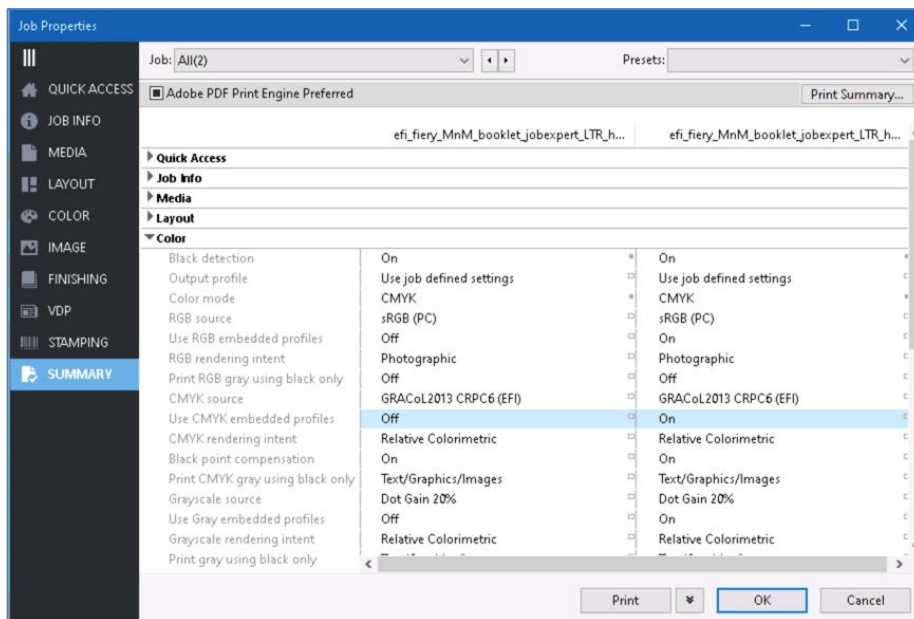
JobExpert を適用して処理された画像。

各ジョブで使用された設定を比較するには、これらの 2 例のジョブのプロパティを比較します。

1. 待機キューから、前の例で使用されていた 2 つのジョブ「efi_fiery_MnM_booklet_jobexpert.pdf」を選択します。
2. いずれかを右クリックします。
3. コンテキストメニューから**プロパティ**オプションを選択します。
4. 次に「概要」タブをクリックします。

手順 : Fiery JobExpert を使用して、ジョブを正しく 1 回印刷する

5. 「カラー」セクションで、PDF の内容に基づいて設定されたすべての設定内容を確認できます。処理されたそれぞれの PDF で、「CMYK 埋め込みプロファイルを使用」設定が「オフ」および「オン」になっていることを確認してください。



手順 : Fiery JobExpert を使用して、ジョブを正しく 1 回印刷する

Fiery JobExpert では、次のようなその他のいくつかの設定も修正できます。

色空間とスポットカラー



JobExpert を使用しない場合



JobExpert を使用した場合



JobExpert を使用しない場合



JobExpert を使用した場合

透明度



JobExpert を使用しない場合



JobExpert を使用した場合

小さなテキスト



手順 : **Fiery JobExpert** を使用して、ジョブを正しく 1 回印刷する

JobExpert を使用しない場合

JobExpert を使用した場合

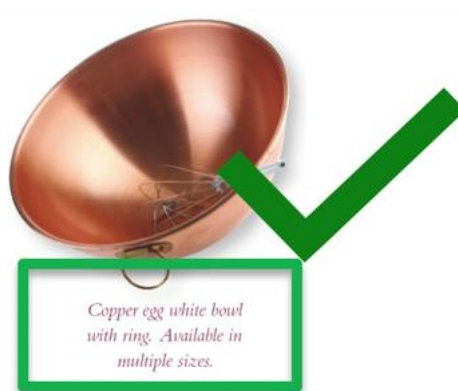
極細の線



JobExpert を使用しない場合

JobExpert を使用した場合

APPE で正しく出力



JobExpert を使用しない場合

JobExpert を使用した場合

すでに待機キューにインポート済みのジョブに **Fiery JobExpert** を適用

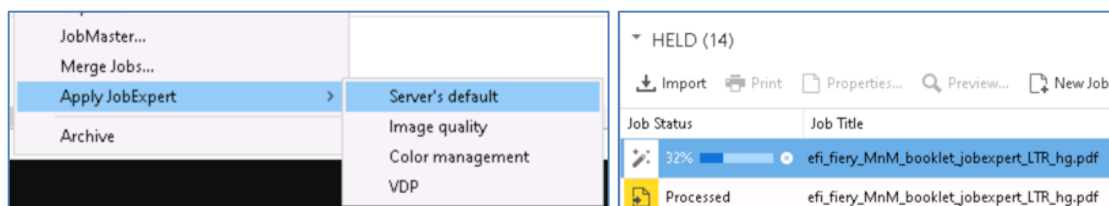
このセクションでは、インポート済みの PDF ファイルに、Fiery JobExpert 機能を使わずに JobExpert の設定を適用する方法を説明します。

1. JobExpert を適用したいジョブを待機キューに配置します。
2. ジョブ名を右クリックします。

手順 : **Fiery JobExpert** を使用して、ジョブを正しく **1** 回印刷する

3. コンテキストメニューで、**JobExpert** を適用オプションを選択します。
4. 使用できる既定の設定から、**サーバーの初期設定**を選択します。

Fiery Command WorkStation によって、選択された PDF ファイルに自動的に **JobExpert** が適用され、待機キューの「ジョブ状況」列には進行状況バーが表示されます。



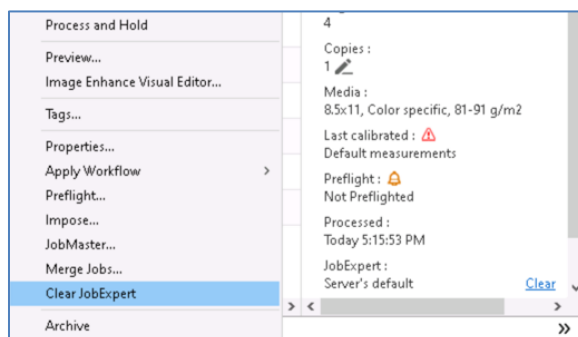
注意 : Fiery JobExpert は未処理のジョブにしか適用できません。そのため、**JobExpert** を適用する前に、処理済みのジョブからラスターデータを除去することが重要となります。キューの処理済みのジョブを選択して右クリックし、コンテキストメニューから**ラスターデータ除去**オプションを選択します。

ジョブに適用された **Fiery JobExpert** をクリア

ジョブの **JobExpert** の設定を取り消したい場合は、ワンクリックで削除できます。

1. **JobExpert** 機能を削除したいジョブを待機キューから探して選択します。
2. ジョブ名を右クリックします。
3. コンテキストメニューで、**JobExpert** をクリアオプションを選択します。

Fiery Command WorkStation の待機キューにある選択された PDF ファイルが、自動的に以前の設定に復帰します。



または、「概要」パネルを使用して **JobExpert** の設定をクリアすることもできます。

1. **JobExpert** を削除したいジョブを待機キューから探して選択します。
2. 「概要」パネルエリアで、**クリア**リンクをクリックします。

手順 : **Fiery JobExpert** を使用して、ジョブを正しく **1** 回印刷する

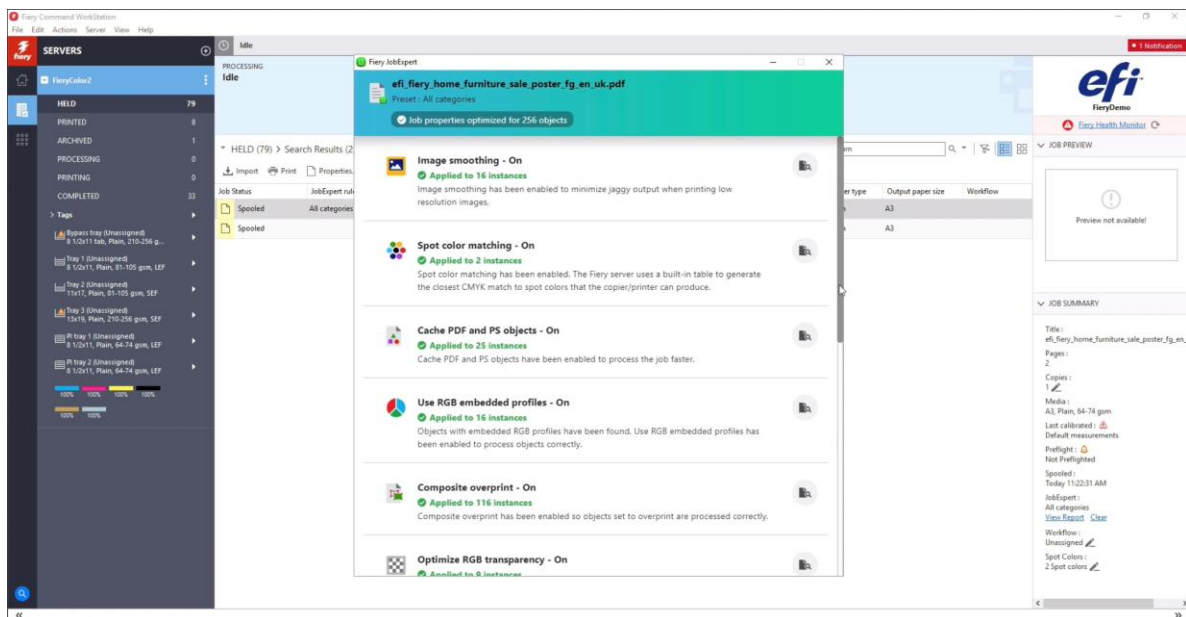
Fiery Command WorkStation の待機キューにある選択された PDF ファイルで、自動的に JobExpert の設定がクリアされ、デフォルトの設定が適用されます。

注意 : Fiery JobExpert は未処理のジョブでしかクリアできません。そのため、処理済みのジョブからラスターデータを除去することが重要となります。キューの処理済みのジョブを選択して右クリックし、コンテキストメニューから**ラスターデータ除去**オプションを選択します。

ジョブに適用された **Fiery JobExpert** レポートをプレビュー

JobExpert をジョブに適用した後は、JobExpert レポートを使用して、ジョブ用に最適化された設定についての概要と説明を確認できます。また、プレビュー機能を使用することで、特定の設定の有効化が必要な要素を視覚化できます。

JobExpert レポートにアクセスする方法は 2 つあります。1 つ目は、ジョブキューのジョブ名を右クリックして、コンテキストメニューで「レポートを表示」を選択すること。2 つ目は、「ジョブ概要」エリアの JobExpert 情報にある「レポートを表示」リンクをクリックすることです。

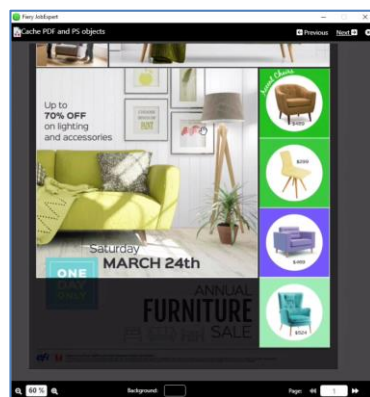
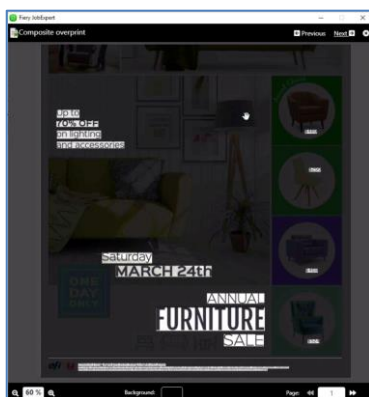
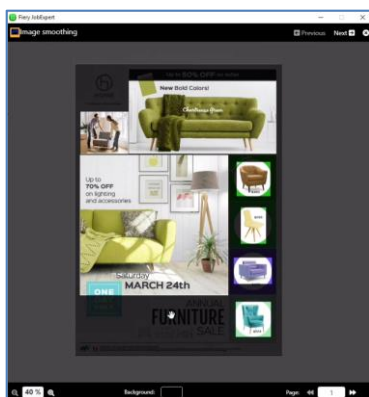


開いたレポートでは、使用されたプリセットと、JobExpert によって最適化されたインスタンスの総数を確認できます。

また、適用された各設定の説明と、その使用回数も見ることができます。

有効化された設定をクリックすると、新しいウィンドウがポップアップし、設定の変更を必要としていた書類内の要素が表示されます。プレビューは、「前へ」または「次へ」ボタンをクリックしたり、別のズームファクターを選択したり、背景カラーを変更したりすることで順次確認することができ、影響を受ける書類内の要素を視覚的に確認するのに役立ちます。

手順 : Fiery JobExpert を使用して、ジョブを正しく 1 回印刷する



EFIはお客様のビジネスの発展をお手伝いします。

EFIは看板、包装、テキスタイル、セラミックタイル、パーソナライズされた書類を制作するための画期的なテクノロジーを開発しています。多彩なプリンター、インク、デジタルフロントエンド、また、生産プロセス全体を変革し効率化する包括的なビジネスおよびプロダクションワークフロースイートを提供し、お客様の競争力と生産性を向上させます。詳細は www.efi.co.jp まで。

ここに記載される内容は、EFIの製品とサービスに付属して明示された保証書に追加する保証にはなりません。

The APPS logo, AutoCal, Auto-Count, Balance, BESTColor, BioVu, BioWare, ColorPASS, Colorproof, ColorWise, Command WorkStation, CopyNet, Cretachrom, Cretaprint, the Cretaprint logo, Cretaprinter, Cretaroller, Digital StoreFront, DocBuilder, DocBuilder Pro, DockNet, DocStream, DSFdesign Studio, Dynamic Wedge, EDOX, EFI, the EFI logo, Electronics For Imaging, Entrac, EPCount, EPPhoto, EPRegister, EPStatus, Estimate, ExpressPay, FabriVU, Fast-4, Fiery, the Fiery logo, Fiery Driven, the Fiery Driven logo, Fiery JobFlow, Fiery JobMaster, Fiery Link, Fiery Navigator, Fiery Prints, the Fiery Prints logo, Fiery Spark, FreeForm, Hagen, Inkintensity, Inkware, LapNet, Logic, Metrix, MicroPress, MiniNet, Monarch, OneFlow, Pace, Pecas, Pecas Vision, PhotoXposure, PressVu, Printcafe, PrinterSite, PrintFlow, PrintMe, the PrintMe logo, PrintSmith, PrintSmith Site, PrintStream, Print to Win, Prograph, PSI, PSI Flexo, Radius, Remoteproof, RIPChips, RIP-While-Print, Screenproof, SendMe, Sincolor, Splash, Spot-On, TrackNet, UltraPress, UltraTex, UltraVu, UV Series 50, VisualCal, VUTEk, the VUTEk logo, and WebTools are trademarks of Electronics For Imaging, Inc. and/or its wholly owned subsidiaries in the U.S. and/or certain other countries.

その他の用語や製品名は各社の商標や登録商標である可能性があります。